

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">1</p> <p style="text-align: center;">29 番 永 島 義 雄</p>	<p>1. 観光行政の組織の見直しと強化について</p> <p>(1) 来年春の北陸新幹線開業を控え、当市の観光振興策は今以上に重要となる。一方で、当市は他市に比べて豊富な観光資源を持っているにもかかわらず、観光地として全国的な知名度があるとは言えない。そこで、現在の産業観光部から観光部門を分けて観光局として独立させ、組織体制の強化を図る考えはないか。また、その局長には、民間で観光事業に携わってきた人物を充て、市職員を指導し、観光施策のノウハウを職員に伝えることができないか。</p> <p>2. 伝統、文化の振興による交流人口拡大策について</p> <p>(1) 観桜会期間中の 4 月 11 日から 15 日、全国的にも珍しい上越水墨画フェスティバルが開催され、県内外から多くの人達を集めた。このイベントは今年で 5 回目となるが、展示作品には、地元の小中学生のものだけではなく、遠くハワイからの作品や、日本有数の作家、あるいは世界的な作家による作品の展示もあり、年を追うごとに充実してきている。こうしたイベントは市の文化的なイメージアップにつながるだけではなく、交流人口拡大策としても有効である。現在、市はこのイベントに後援という形で関わっているが、市が主催で継続させていく考えはないか。</p> <p>(2) 高田開府以来 400 年の歴史を持つ高田と直江津の祇園祭は、日本三大祭りの 1 つである京都祇園祭の流れを継承している。お旅所で行われる神輿の宮参りや、高田と直江津をつなぐ神輿の川下り、直江津の屋台が奏でるお囃子、クライマックスのお饀米奉納など、宣伝方法によっては、県内外からもお客様を呼べる祭りである。現在、この祭りは「上越まつり」という名称で行われているが、昔からの名称である「高田、直江津祇園祭」に戻し、祭りの伝統と魅力を発信する考えはないか。</p>
<p style="text-align: center;">2</p> <p style="text-align: center;">19 番 江 口 修 一</p>	<p>1. 上信越自動車道四車線化を契機とした各施策について</p> <p>(1) 四車線化によるアクセス性の向上を機に、群馬県や栃木県、茨城県など北関東経済圏を視野に入れた産業振興策を展開できないか。</p> <p>(2) 上信越自動車道は環太平洋と環日本海の港湾物流をつないでいることから、直江津港と茨城港の関係強化を図る考えはないか。</p> <p>(3) 四車線化によって、物流拠点としての直江津港の優位性が高まると考えるが、これを機に耐震岸壁の延伸とガントリークレーンの増設を県に働きかける考えはないか。</p> <p>2. 北陸新幹線開業効果をにらんだ産業・観光面の施策について</p> <p>(1) 企業立地や産業集積、広域的ビジネス展開のポテンシャルが高まるとしているが、どのような産業であるのか、またどのような企業を想定しているのか、具体的な方針を持っているのか。</p> <p>(2) 新幹線開業年としての高田城百万人観桜会の新たなあり方や受け入れ態勢は考えているのか。</p> <p>(3) いろんな企画イベント（上越まつり、上越はすまつり、謙信公祭、城下町花ロード、越後・謙信 SAKEまつり、灯の回廊、レルヒ祭、食の祭典）があるが、これらを全国区とする企画案を市民とともに考えていけるのか。</p> <p>(4) 直江津地区が最高に盛り上がる祇園祭に花火一万発を上げて、当市を全国に発信できないか。</p> <p>3. 直江津港の振興策について</p> <p>(1) 来春小木への「高速フェリー」就航についての特別企画案はあるのか。</p> <p>(2) 直江津港フェスティバル 2015 を盛大にやる考えはないのか。クルーズ船「飛鳥Ⅱ」等の寄港は考えられないのか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
3 12 番 杉 田 勝 典	<p>1. 当市の物産品販売と観光振興について</p> <p>(1) 大阪市に開業した、県の情報発信拠点「じよんのび にいがた 食楽園」での当市物産品の販売状況を把握しているか。また、この施設によって、どの程度、当市物産品の知名度が向上し、また当市への誘客が促進されると考えているか。あわせて、今後の関西での当市物産品の販売促進策及び誘客促進策について聞きたい。</p> <p>(2) 高田開府 400 年祭で当市を訪れた観光客がリピーターとなるよう、魅力ある集客観光スポットをつくる考えはないか。</p> <p>2. 地域包括ケア推進室の設置について</p> <p>(1) 現在当市では、地域包括ケアシステムの構築に向け取り組んでいるが、より専任的に、構築・運用していく「地域包括ケア推進室」を設置する考えはないか。</p> <p>3. 当市の林業振興について</p> <p>(1) 地元産材の公共事業への利用実態を聞きたい。また、国が行っている「木材利用ポイント事業」は 9 月末に終了となるが、地元産材の普及を図るため、国県へ新たな制度の創設を要望していく考えはないか。</p> <p>(2) 国が進める「緑の雇用」制度を広く市民に PR し、若者の雇用の場の確保と、市内林業の活性化を図る考えはないか。</p> <p>(3) 山林に放置されている木材をバイオマスエネルギーとして活用する発電所を作る考えはないか。</p>
4 20 番 武 藤 正 信	<p>1. 新たな農業政策について</p> <p>(1) 国では、昨年からの担い手への農地集積や耕作放棄地の発生防止・解消の抜本的な強化策として、各都道府県に農地中間管理機構を設置している。市ではこの機構の活用方針をどのように考えているか。</p> <p>(2) 多面的機能支払交付金について、6 月以降に説明会や申し込み受付をすとしてしているが、営農活動は 4 月から始まっている。取組希望者には証拠書類となる活動記録の作成をどのように指導しているか。また、新設された農地維持支払について、取組希望者の全部が支払い対象になれるのか。</p> <p>(3) 今年度で第 3 期対策が終了する中山間地域等直接支払交付金について、第 4 期対策の推進に向けた市の取り組みを聞きたい。</p> <p>2. 農業委員会のあり方について</p> <p>(1) 国の規制改革会議・農業ワーキンググループでは、今後の農業委員会の業務のあり方を見直すべきではないかとの意見が出されているが、市農業委員会の見解を聞きたい。</p> <p>3. 黒川工場団地に設置するメガソーラーについて</p> <p>(1) 今までの経過と設置までのスケジュールを聞きたい。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
5 26 番 近 藤 彰 治	<p>1. 東京オリンピックにおける合宿等の誘致について</p> <p>(1) 平成 32 年の東京オリンピックを本県の発展にどうつなげるかを話し合う「東京オリンピック・パラリンピック新潟県活性化推進会議」が 4 月 24 日に開催されたが、会議において当市が提出したオリンピック開催に伴う意向及び取組の内容を聞きたい。</p> <p>(2) 泉田知事は、会議後、報道機関に対し、合宿などの誘致に関しては誰にどう働きかけるかが重要であり、全体的な動きを整理しながら情報を集めたいと話したが、当市として、この発言をどのように受け止めているか。</p> <p>(3) 昨年 12 月 25 日の記者会見で市長は、東京オリンピックにおける強化選手の合宿場所として、大潟体操アリーナと建設予定の県立武道館が選ばれることを望んでいるとし、誘致も必要ではないかと発言しているが、具体的にどのような誘致活動を予定しているか。</p> <p>2. 儀明川ダムの建設促進について</p> <p>(1) 市長は、5 月 16 日に儀明川ダム建設事業の促進を求め、泉田知事に要望書を提出した。市長が知事に対して直接要望を行ったのは初めてと報道されているが、直接要望するに至った経緯と市長の考えを聞きたい。</p> <p>(2) 4 月 11 日に、当初からの治水対策に加えて克雪用水確保も含めた多目的ダムとして正式に国の認可を受けた。これを受け、市として、治水及び克雪のため、ダムをどのように利活用していく考えか。</p> <p>(3) 県は、本体工事の着手時期について、「平成 30 年代半ばごろ」としているが、市民の生命と財産を守るため、早期着工に向け、県への働きかけをより一層強める考えはないか。</p>
6 14 番 笹 川 栄 一	<p>1. 地方自治法の一部改正について</p> <p>(1) 中核市制度と特例市制度を統合して、中核市の指定要件を法定人口 30 万人以上から 20 万人以上に緩和されたことにより、当市は中核市となり得るが、このことをどのように考えているか。</p> <p>(2) 新たな広域連携制度が創設されたことにより、当市として、この「連携協約」や「事務の代替執行」の制度による事務処理をするようなことが考えられるのか。</p> <p>(3) 認可地縁団体が所有する不動産に係る登記の特例を創設するとしているが、具体的にどういうことか。</p> <p>2. 人口減少問題について</p> <p>(1) 当市における人口減少の実態を聞きたい。</p> <p>(2) 市長は、日本創成会議が示した人口推計に対して、どのような認識を持っているか。</p> <p>(3) 県内の自治体では、さまざまな人口減少対策を打ち出しているが、当市はどのような対策を考えているのか。</p> <p>(4) 次期総合計画の策定に当たり、部局横断的な検討組織の設置など、人口減少対策に係る何らかの取り組みを始めなくてよいのか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
7 25番 柳沢周治	<p>1. 当市における成年後見制度の利用促進について</p> <p>(1) ひとり暮らしの高齢者や障がい者が増える中、成年後見制度の重要性が増している。市として、制度利用促進のための体制づくりや制度利用者が気軽に相談できる仕組みなどを整えているか。</p> <p>(2) 国は平成24年に市民後見人の育成及び活用を図るため、必要な措置を講じることを各自治体に求めたが、当市の取り組み状況と今後の課題などを聞きたい。</p> <p>2. 小型家電製品回収を通じた福祉支援について</p> <p>(1) 小型家電リサイクル法に基づき、市では小型家電製品を回収しているが、現在までの回収量と回収品目の傾向を聞きたい。また、障がい者福祉施設の中には、通所者の就労支援や財源として、小型家電の解体作業を行っているところもある。市が、回収したパソコン等の小型家電製品を障がい者福祉施設へ提供し、支援する考えはないか。</p> <p>3. 障がい者福祉サービスの課題と対策について</p> <p>(1) 市内の障がい者福祉施設の中に、生活介護型事業を実施しているところが少なく、特別支援学校を卒業した子供の受け入れ先が不足している。一部では利用制限も行われ、保護者に不安が広がっているが、市の対応策を聞きたい。</p> <p>(2) 短期入所施設利用者の中にあっては長期間利用する方が多く、緊急受入れ枠や通常の短期受入れ枠が狭まっている。今後のニーズ増加に対応するため、どのような対策を考えているか。</p>
8 5番 滝沢一成	<p>1. 中心市街地活性化対策について</p> <p>(1) 昨年度で中心市街地活性化基本計画が終了したが、どう総括するか。</p> <p>(2) 高田地区・直江津地区中心市街地のあるべき姿をどのように構想しているか。また、現状とあるべき姿の差を今後どのように埋めていくのか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">9</p> <p style="text-align: center;">2 番 石 田 裕 一</p>	<p>1. 市の妊産婦や乳児の支援について</p> <p>(1) 市では妊産婦や乳児の支援として、すくすく赤ちゃんセミナーや離乳食相談会などの事業を実施しているが、妊産婦や乳児の対応には、保健師の役割が重要と考える。実際にどのような役割を果たしているのか。</p> <p>(2) 市では父子手帳を配布しているが、配布状況を聞きたい。また、各家庭で父子手帳は十分に活用されていると考えているか。</p> <p>2. ふるさと納税普及への積極的な取り組みについて</p> <p>(1) 市は今年度から寄附金の用途を明確化し、寄附先をわかりやすくしたほか、1万円以上寄附した方に公共施設の入場券を贈呈するなどしている。しかし、寄附者への特典制度について、市長は「当市に貢献したい、応援したいという思いの中で御寄附いただくことがふるさと納税の本来あるべき姿」と慎重である。市の財政が厳しい中、ふるさと納税は市の収入の起爆剤になるものであり、より積極的に普及に取り組むべきと考えるが市長の考えを聞きたい。</p>
<p style="text-align: center;">10</p> <p style="text-align: center;">8 番 平 良 木 哲 也</p>	<p>1. 医療・介護総合法案について</p> <p>(1) この法案は、要支援者への責任を市町村に押しつけたり、介護サービスの受給を制限したりと、自治体や高齢者にとって大きな改悪となるが、どのように考えているか。また、国に対して反対を表明すべきではないか。</p> <p>(2) 介護や支援が必要な高齢者へのサービス水準を、これまで同様に確保する上で、当市としてどのような取り組みが必要と考えているか。また、当市におけるこの法案への準備状況はどうなっているか。</p> <p>2. 原子力発電について</p> <p>(1) 大飯原発の再稼働に関する福井地裁の判決は、人の生命を基礎とする人格権を最も重視して、「これを超える価値を他に見いだすことはできない」と強調し、その上で、住民らの人格権と電力の安定供給やコストの問題をてんびんにかけて関西電力側の議論を退け、「国富の喪失」とは運転停止による貿易赤字ではなく、「豊かな国土とそこに国民が根をおろして生活していること」を失うことだと強調するなど、原発の抱える本質的な危険を認め、運転差し止めを命じたが、この判決を市長はどのように受け止めたか。</p> <p>(2) 市民の生命を死守する責任を負う市長としては、この際、原発の再稼働反対を明言し、国に対して原発からの撤退を求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>3. 入札について</p> <p>(1) ガス水道局の工事契約における入札制度の改革とその結果を、現時点でどのように総括しているか。また、市長部局においてもそれらを踏まえた改革を行うべきと考えるがどうか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">11</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">22 番 上 野 公 悦</p>	<p>1. 消費税増税に関する諸問題について</p> <p>(1) 4月1日から消費税が8%に増税された。市民の暮らし、市内経済に大きな影響が出ていると思われることから次の諸点について市長の考えを聞きたい。</p> <p>ア 市民の暮らしや市内経済への影響について、状況とそれに対する認識を聞きたい。また、これまでどのような対応策を講じてきたか。</p> <p>イ 国は「消費税増税は社会保障の維持継続のため」としているが、実態は増税と同時に社会保障の大幅な後退を伴っている。この点について市長の考えを聞きたい。</p> <p>ウ 国は来年10月からの消費税10%導入を目指し、年末までに結論を出すとしている。市長は市民の暮らしと市内経済を守るため、更なる消費税増税には反対の声をあげるべきと思うがどうか。</p> <p>2. 生活保護に関する諸問題について</p> <p>(1) 安倍内閣は社会保障制度解体の突破口として生活扶助基準の引き下げなど生活保護法の改悪を強行した。これまでの国会での論戦や国民の大きな運動によって、改悪された当初案は大幅修正されているが、根本的には扶養義務の強化など自己責任論や血縁者の扶養責任論が強く押し出されていると思われる。当初案が大幅修正された4月18日の「改定生活保護法の厚生労働省令」をどう認識しているか。さらに、生活保護受給者の一般的な生活を保持するため、運用の改善が求められると思われるが、総括的な市長の考えを聞きたい。</p>
<p style="text-align: center;">12</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">23 番 橋 爪 法 一</p>	<p>1. 人事政策について</p> <p>(1) 総合事務所における地域を熟知した職員の確保は急務と考えるが、今後の人事方針について、市長の考えをききたい。</p> <p>(2) 地域限定の職員採用方式について、当市でも検討すべきと思うが、市長の考えをききたい。</p> <p>2. 並行在来線等対策について</p> <p>(1) 運賃について、直江津駅等での乗り継ぎに伴い、初乗り運賃が発生する可能性があるが、関係各社との協議はどうなっているか。</p> <p>(2) 上越地域から県都新潟へのアクセス手段の確保は重要であり、現在運行している特急北越及び快速くびき野と同等の本数を確保することが期待されているが、関係各社への働きかけの状況とその結果をききたい。</p> <p>(3) えちごトキめき鉄道と JR 東日本など隣接他社との間で乗車券の相互販売を行うことについて、実現の見通しはどうか。</p> <p>(4) 現在 JR が所有している施設、設備のえちごトキめき鉄道への引き継ぎについて、協議の状況はどうか。</p> <p>(5) 新幹線開業後、上越妙高駅へのほくほく線の乗り入れ実現に向けた取り組み状況についてききたい。</p> <p>3. 農業委員会制度の見直しについて</p> <p>(1) 政府が進めている農業委員会制度見直しの動きをどう見ているか、また、どう対応する考えか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
15 11 番 大 島 洋 一	<p>1. JR線・並行在来線・ほくほく線の利便性の向上等について</p> <p>(1) 平成26年5月22日に当市議会で行政側に要望・提言等した中で、以下の4点について、市長の考えを聞きたい。</p> <p>ア 北越急行運行列車の黒井駅停車の実現について</p> <p>イ 北陸新幹線開業後、北越急行運行列車の直江津駅経由上越妙高駅までの乗り入れの実現について</p> <p>ウ 新幹線開業後の上越妙高駅と新潟駅を結ぶ優等列車の存続について</p> <p>エ JR線や並行在来線、ほくほく線へ相互に乗り継いだときにかかる初乗り運賃の割引について</p> <p>2. 人口減少とりわけ社会減とその対策について</p> <p>(1) 日本創成会議では驚くべき人口推計の試算を発表したが、市長はどのように考えているか。</p> <p>(2) 当市における人口減少とりわけ社会減とその対策についてどのように考えているか。また、以下の4点について今後の施策をどのように考えているか。</p> <p>ア 企業誘致、商工振興について</p> <p>イ Uターン等の移住促進施策や定住促進施策の充実について</p> <p>ウ 大学・研究所の誘致などについて</p> <p>エ 若者の出会いサポートについて</p>
16 24 番 上 松 和 子	<p>1. 薬物乱用防止策について</p> <p>(1) 市内における薬物乱用の実態を聞きたい。</p> <p>(2) 小中学生に対して、薬物乱用防止のため、どのような教育を行っているか。また、保護者に対して、どのような働きかけを行っているか。</p> <p>(3) 「薬物乱用防止キャラバンカー」を今後、さらに活用する計画はあるか。あわせて、今後の薬物乱用防止のための教育について聞きたい。</p> <p>2. 高田公園周辺の整備について</p> <p>(1) (仮称)厚生産業会館建設に向け内容が少しずつ明らかになってきた。観光誘客のための観光案内、物販、休憩所等の機能を備える考えはないか。また、できない場合は、他に施設が必要ではないか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
17 30 番 石 平 春 彦	<p>1. 人権文化の息づくまちづくりについて</p> <p>(1) 高田開府400年を振り返って、人権・同和問題に関する歴史認識を明らかにされたい。また、高田開府400年祭事業において、人権・同和問題をどのように位置付けているのか。併せて将来にむけて、歴史の負の教訓をどのように生かしていこうとしているのか明らかにされたい。</p> <p>(2) 新潟県が行った「人権に関する県民アンケート」で、差別や人権侵害につながる恐れのある「身元調査」を容認する人が65%を超えていることが明らかになったが、この実態をどう受け止めているか。また、上越市としてどのように対応する考えか、明らかにされたい。</p> <p>(3) 住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度の事前登録状況と制度推進の取組状況について明らかにされたい。また、前回求めた依頼人情報の開示と被害告知の制度化についての検討はどうなったか。</p> <p>(4) ユネスコ世界記憶遺産への「全国水平社創立宣言」の登録をめざす運動が展開されているが、市長も賛同・協力する考えはないか。</p>